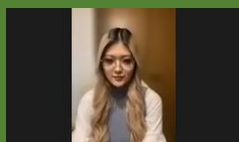
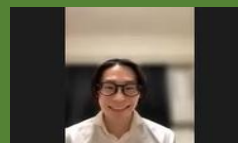
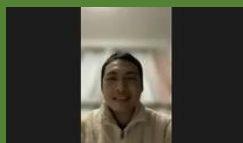
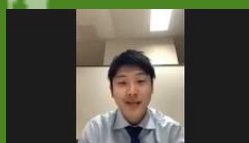


令和4年度

# しんじゅく若者 Web 会議 実施結果報告書





# 目次

I 会議の概要.....	1
1 会議の目的.....	1
2 会議の概要.....	1
3 募集.....	1
4 参加者の属性.....	1
II 当日のスケジュール.....	2
III 会議の進め方.....	2
IV 区からのテーマ説明・町会長より町会・自治会活動等の紹介.....	3
V 意見交換.....	4
1 町会・自治会とその活動をPRする方法について.....	4
2 活動に参加してほしい町会・自治会と、活動に参加したい若者をつなぐしくみ.....	6
3 若者が魅力を感じる(参加したくなる)イベントや活動の企画・運営の方法.....	9
会議のまとめ.....	12
VI 参加者アンケート結果.....	13

# I 会議の概要

## 1 会議の目的

この会議は、日頃、区政と関わりの少ない若者世代の意見やアイデアを施策に反映させるためのきっかけづくり、場づくりを目指すものである。若者の対象年齢は、18～39歳とした。

## 2 会議の概要

### (1) テーマ

若者の地域コミュニティへの参加

### (2) 概要

日 時：令和4年12月11日(日)13:30～15:30

実施方法：オンライン会議

参加者：若者13名 及び 矢来東町会 津吹会長、北新宿二丁目町会 山田会長

## 3 募集

公募：ホームページやチラシ(掲示板等に掲示)等の案内を見て応募した者

## 4 参加者の属性

### (1) 年齢層別

18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	計
1	3	2	2	5	13

### (2) 職業別

会社員・ 公務員	パート・ アルバイト	自営業	経営者・ 会社役員	専業主 婦・主夫	学生	計
11	1	0	0	0	1	13

## Ⅱ 当日のスケジュール

時刻	時間 (分)	内容
13:30～13:40	10	開会、ガイダンス
13:40～13:55	15	自己紹介
13:55～14:20	25	テーマ説明、町会・自治会活動の紹介
14:20～15:25	65	意見交換等
15:25～15:30	5	閉会、事務連絡

## Ⅲ 会議の進め方

### 自己紹介(15分)

自己紹介及び「参加したことがある新宿区や町会・自治会のイベント名と感想」の紹介を参加者全員で行った。

### テーマ説明、町会・自治会活動の紹介(25分)

「若者の地域コミュニティへの参加」に関する区の取り組みや町会・自治会の活動等を紹介した。

### 意見交換(60分)

参加者がテーマについての自身の考え等を発言し、区長・町会長と意見交換を行った。

### 区長からのコメント(5分)

意見交換全体のまとめとして、区長がコメントをした。

## IV 区からのテーマ説明・町会長より町会・自治会活動等の紹介

町会・自治会などの地域コミュニティに係る背景や課題、区の取り組みについて、概要を地域コミュニティ課長がパワーポイントを使って説明した。また、矢来東町会津吹会長と北新宿二丁目町会山田会長が実際の町会・自治会活動等について紹介した。

テーマ説明の様子(パワーポイント資料抜粋)

若い世代と考える  
これからの  
地域コミュニティ

令和4年12月11日  
しんじゅく若者Web会議資料  
新宿区地域コミュニティ課

新宿のまちと地域コミュニティ

町会・自治会をはじめとする地域のための活動をしている団体・組織

人々の相互のつながりや交流がある  
地域社会（地域コミュニティ）の形成

町会・自治会の活動

子どもから大人まで楽しむ品揃ひ大会  
地域の防災訓練による地域防犯や行政情報の発信  
スポーツによる健康づくり  
まち歩き行事を通じた高齢者世代との交流  
伝統文化の継承（伝統的音楽隊）

地域コミュニティを取り巻く背景

- ライフスタイルの変化・多様化  
一人暮らし世帯や高齢者単独世帯の増加  
女性や高齢者の就業率の上昇
- コロナ禍による活動制限  
数年間の新型コロナウイルスの影響により地域活動の制約

住民同士のつながりの希薄化

地域コミュニティの必要性

- さまざまな地域課題
  - ・ 大きな災害等や非常時の助け合い
  - ・ 子どもや高齢者の見守り
  - ・ 地域の安全・安心

区が取り組んでいること

幅広い住民やマンション届住者、事業者が参加し  
**地域コミュニティを再起動**

町会・自治会が抱える課題

活動への参加者の不足

役員の高齢化

IT化への対応

区の主な町会・自治会活性化事業

スマホ・SNS講座

電子回覧板（結ネット）の実証実験

根町地区の5町会が参加

- ・ 町会からのお知らせ
- ・ 会員同士の情報共有の仕組みづくり
- ・ 区政情報の収集

皆さんと考えたいこと

町会・自治会と  
若い世代をつなぐために

- 町会・自治会とその活動をPRする方法について
- 活動に参加してほしい町会と、活動に参加したい若者をつなぐしくみ
- 若者が魅力を感じる（参加したくなる）イベントや活動の企画・運営の方法

## V 意見交換

テーマである「若者の地域コミュニティへの参加」のうち、若者と考えたい以下の事項について、意見交換を行った。

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1 町会・自治会とその活動を PR する方法について            |
| 2 活動に参加してほしい町会・自治会と、活動に参加したい若者をつなぐしくみ |
| 3 若者が魅力を感じる(参加したくなる)イベントや活動の企画・運営の方法  |

### 1 町会・自治会とその活動を PR する方法について

#### ■若者からの提案(意見から抜粋)

町会・自治会活動の PR 時、若い人が参加しやすい雰囲気をつくる 例:子どもがたくさんいる楽しそうな画像を使う等
イベント告知では、「誰でも参加歓迎」ということがわかるように明記する
SNS で、防災訓練などの催しの情報を発信する
10 秒程度のショート動画や動画内容がわかるサムネイルなど、Youtube を工夫する
飲食店やスーパー、コンビニに協力してもらい、イベントを案内する
地域のイベントなどをインターネットで検索して情報にたどり着くように工夫する

#### ■意見交換(概要)

##### (発言者1)

町会・自治会活動のPRは、掲示板や商店街の張り紙などで十分に伝わっていると思うので、工夫できるとしたらデザインではないかと思う。子どもがいっぱいいるような楽しそうな雰囲気の写真など載っていると、子どもも連れて行っていいというのが伝わる。町会・自治会は、ずっと地域の高齢者が中心の組織というイメージがあるので、若い人が参加できるという雰囲気をプラスすればいいのではないか。

##### (発言者2)

以前、町会のイベントに行って子持ちでないと駄目と断られたことがあり、掲示されているイベントは高齢者やお子さんがある家庭向けと思うようになった。餅つき大会なども自分は対象外ではないかと足踏みしてしまうことが増えた。条件なく「どなたでも大歓迎。」と書くと参加しやすくなるのではないかと思う。

##### (発言者3)

私は、町会・自治会の PR は足りていない、もしくは方法を変えたほうが良いと思う。家の近くには掲示板がなく、どんな活動をしているのか今回の会議で初めて知った。

地域のお祭りなどはやっていたら参加できる。本日の説明を聞いて、防災訓練に参加してみたいと思ったが、いつ開催しているかといった情報をどうやって仕入れていいのかわからない。Twitter などなら、通勤途中でも情報収集ができるので、SNS を活用してほしい。

(発言者4)

新宿区の話になるが、SNSについて、新宿区の Twitter は情報も細かく画像も掲載されており、また、URL で詳細へ誘導するなど上手いと思う。こうした SNS を使ってイベント告知などを発信すれば少しは参加しやすくなると思う。

一方で、新宿区の City Shinjuku という You Tube チャンネルは公式なのかそうでないのか区別が付きにくい。サムネイルも画一的で内容もわかりにくく、動画時間も長めで見るのに疲れる。動画を見る前から動画の内容が何かをつかめるサムネイルにすることや、ショート動画とか 10 秒くらいでやってみても面白いのではないか。

(発言者5)

SNS の利用もいいとは思いますが、フォローしていない人には届きにくい。飲食店に協力してもらいたいなどにイベントの案内を置いておくといいかもしれない。また、参加するメリットやデメリットが記載してあって伝われば、多くの人を集められるのではないか。

(発言者6)

掲示板を見ることが無いので、ネットで検索するが、「地域(スペース)イベント」などで検索しても、あまり情報にたどり着かないので、そこを工夫して改善して欲しい。コンビニやスーパーは必ず誰もが家の近所で行くので、お店にチラシを掲示すると目につくし、町会・自治会はこういうことをやっているのだな、と気を引くことがいいのではないか。

(北新宿二丁目町会 山田会長)

町会としても数年前から Facebook をつくり、最初の頃は、行事や町内のランドマーク、活躍している方へのインタビューなど盛りだくさんでやってましたが、先絞りになってしまっています。コロナで行事が減ったこともあり素材がなく、月に1回か2回ぐらいしか新しい情報が載らないというような状況です。せっかく町会としての Facebook もあるので、もっと活用できればいいし、またそれを運営していく側が高齢な方たちですが、もう少し若い方が目を惹いてくれるような工夫ができればいいと思っています。

(区長)

SNS は自分が見たいときに見られるため、町会・自治会の情報発信ツールとしてよいと思います。区の情報は、LINE 登録でのプッシュ型の通知や SNS のフォローなどで見ていただくことができますが、町会・自治会は、SNS のアカウントを持っているところと持っていないところが分かれてしまっていることがネックになっているので、区も各町会・自治会が SNS のアカウントを持てるようにお手伝いしていきたいと思います。

町会・自治会は、同じ町名でも複数の町会・自治会に分かれていたりするため、自分が住んでいるエリアがどの町会・自治会かというのは、なかなか分かりづらいと思います。区のホームページ等で、地域ごとの町会・自治会が分かるようなパンフレットを掲載しているので、そのページなどを参考にしてもらいながら、自分がどこの町会・自治会のエリアに住んでいるかを知ってもらい、町会・自治会に SNS のアカウントがあるかどうか、チェックしてもらえるとありがたいと思いました。



## 2 活動に参加してほしい町会・自治会と、活動に参加したい若者をつなぐしくみ

### ■若者からの提案(意見から抜粋)

イベントなど、町会・自治会に属してなくても誰でも(1人でも)参加できることを全面的に打ち出す
会議等は土日開催し、誰もが参加できることをアピールする(働く世代や子育て世代や学生も参加しやすいように)
保育園、学校関係のコミュニティに町会・自治会活動をインフォメーションし、そのコミュニティの横のつながりを活用して周知する
防災イベントなど、年代に関係なく理解が必要なものについては、参加を強制にする
告知はマンションの掲示板などで行う
若い人が考えた企画を前面に出す、企画や運営を行う側に若い人をもっと増やす

### ■意見交換(概要)

(発言者1)

町会に所属してなくても誰でも参加できるというのはいいと思う。これまでは地域の横のつながりや、親や親族がやっている、といった理由で町会に参加するパターンだったと思うが、「イベントをやるので、誰でも、1人でもいいので参加してください。」というのを全面的に打ち出したら、潜在的に何かやりたい人はいると思う。

また、平日に会議をするとなると、もうそれだけで「自分たちには無理だ、やめる」ということになってしまうと思う。基本的に会議などは土日開催して、学生や30代とか40代、子育て世代でも参加できるように、本当に誰でも参加できます、ということを出していくのが重要だと思う。

(北新宿二丁目町会 山田会長)

実は「この誰でも参加できる仕組み」は現在、手探りで考えています。どなたでも企画・運営に携わる形が、やはり一番活性化につながるので、今まで我々が考えなかったような発想が出てくる、これが一番、町会としても最良かなどに思っています。まずは参加していただくことが一番大事です。そこでコミュニケーションができて、次の機会につながっていくのが理想ではないかと考えています。

(発言者2 ※町会長への質問)

お祭りや餅つきは行っているというお話が多かったが、これから町会と若者をつなぐ仕組みをつくって、もっと人が来てほしいイベントというのは、具体的にどのようなイベントなのか。今みんなが知っているお餅つきにもっと人が来てほしいのか、それとも小学校の入学祝いとか、町会がいろいろな活動をやっていることを、今日初めて知ったのだが、もっといろいろな町会活動に若い人が来てほしいのか。参考に教えていただきたい。

(矢来東町会 津吹会長)

今やっているイベントに限らず、多くの人に参加していただけるイベントをつくっていききたい、そのためには若い方々のご意見もどんどん取り入れさせていただきたいと思っています。餅つきやお祭りも強制ではなく、お子さんたちに伝統を伝えていきたいという気持ちで我々町会はやっています。ぜひその伝統を引き継いでいくためにも、若い皆さんに参加をしていただきたいと思います。うちの子どもなどは小学校時代から大学まで毎年手伝って、いろいろなことをやっているの、その

横のつながりでお友達を連れてきて、お手伝いをさせていただいたりしています。

また、できればご参加いただきたいと思っているのは、防災、防犯や交通など、まちの安心・安全につながるものです。若い方に参加していただいて幅広くやることによって、人手も確保でき、それを続けていくことができます。ぜひ、手を貸していただければ助かるなというのが本音です。

(北新宿二丁目町会 山田会長)

今までは子ども縁日などの行事を実施するのは、町会費をいただき地域の皆様に還元する、あるいはコミュニケーションの場をつくろうという目的でした。今は、目的をコミュニケーションや還元ではなく、若い方が参加してくれて、その若い方を取り込めるような企画を目的にしてやりたいな、と考えています。ただ、そのためには、若い方が興味をもってくれるような企画案があれば、ありがたいと思います。

(発言者 3)

そのまちの集まりなどを知ることが非常に大事なと思う。やはり知らないというところは私自身も大きいとっていて、かつ、知るというところに1つハードルがあり、また様々知った上でイベントのチラシとか見ても1人で行くのは結構ハードルが高いということもある。まず知る、というところで、例えば、保育園とか、学校とか、既存の自分たちの入っているコミュニティでお知らせしてもらおう。いきなり自分から知らないところに飛び込むのはハードルが高いが、今入っているコミュニティでお知らせしてもらおうと、そのコミュニティの中で、地域でこんな行事がある、取組みがあるから一緒に行ってみないか、というような、横のつながりで誘い合ってみれば、かなりハードルが下がってくると思う。

(発言者 4)

もともと田舎の出身で、新宿に出てきた。外から入ってきた人がこういった活動に参加するには、知らない人がほとんどの中で1人では勇気が要る。それを解決できる何かないのかということ、いつも考えているところではある。東京で地震が起きるとどんな被害になるのか、というのは、年代関係なく皆が理解していなければならないことなので、防災イベントなどは強制にして参加していただくというのでもいいのかなと思う。

(矢来東町会 津吹会長)

先ほど保育園や学校での告知というお話があったが、今、地域協働学校では、地元の方や各団体が集まり、小学校の校長、校園長も一緒に参加し、「何月何日にこういうイベントが地域でありますよ。」という告知をしていただいたり、お祭りなどであれば、対象学年を絞ってチラシをお配りしています。特にお祭りと言えば、地元の小学校を対象に1年間、「お祭り」という授業をし、その中で地元の町会のお祭りに参加していただいています。幼稚園生も同じような形であり、一部一緒にできているところもあります。ただ、地域によって差があり、必ずしも、他の地元がやっていないのかもしれない。

神楽坂の商店会では防災に消防車を呼んだり、警察の車両にお子さんに乗っていただいたりして、親しみを持っていただくイベントなどを開催しています。私は、隣接町会長としてイベントの共催、告知も含めた開催をしており、一町会だけではなく連携してやっているという行事も数多くあることをご理解いただければ助かります。

(発言者 5)

町会で、もっと若者を主体にしてあげたほうがいいのではないかなと思う。若い人が考える企画を前面に出す、といった機会を持つことが、活動に参加してほしい町会と活動に参加したい若者

をつなぐ仕組みのきっかけになるのではないのか。町会は、長年やっている人が町会長や役員になるイメージがあるのだが、思い切って、物事を決める立場を若い人にやってもらうことをやってみるということが、町会と若者をつなぐ仕組みを考えるきっかけになるのではないのかと思う。

また、つなぐ仕組みについては、既の実施しているところはあると思うが、マンションの掲示板などへの告知は知るきっかけにはなるかなと思った。

本日の会議に出て、区のLINEやTwitterがあることを知った。意外に新宿区にそういう媒体があることが知られていないことが多い気がする。引っ越しの手続きの時に説明してみたり、新宿区のイベントがあったときに、TwitterやLINEもやっていますとアピールする機会を増やすと、今度登録してみよう、とか、参加する人が増えるのでは、と思った。

(区長)

町会・自治会の規模にもよると思うのですが、人手がある町会・自治会等では、青年部長や青壮年部長という形で、若い人がイベントの実行委員長をやっているようなところがあります。その人たちが、自分たちが楽しめる、自分たちの家族や後輩の世代が参加してくれるにはどうしたらいいか、と考えながらやっている町会・自治会もあります。

あと、お金の算段や手続き、役所との調整といった難しいところは、経験がある年配の方がやって、企画や実行などは若い人に役割分担をするというのは、良い方法なのではないかと思っています。こうした取組を行って、うまく回っている町会・自治会などもあります。1つ1つの町会・自治会には規模の大小がありますので、なかなか全ての町会・自治会が同じことをできるかというところもあるのですが、うまく回っている町会・自治会があると周りも刺激を受けて、人数が少ないなら少ないなりに声をかけて、隣同士で協力してやっていきたいと思います。若い方と年配の方とが役割分担できる先ほどの提案は素晴らしいと思いました。

(発言者 6)

どうやって参加してもらおうかということも大事だと思うが、若者の中には企画や運営することに興味を持つ人もいると思う。若者の人に企画する側をやってもらう、経験してもらおうということも大事かと思う。イベントに参加する人を集める以上に、企画する側に若者をもっと増やしたら、例えば「何とか君のママが町会のイベントをやっているらしい。」と聞いたら参加したいなと思うし、やはり知り合いが運営側に回っていると参加したいという気持ちになる。ママ友LINEとか、そういったところで発信とかもしてくれると思うし、企画側に若者を増やすことが大事だと思う。

### 3 若者が魅力を感じる(参加したくなる)イベントや活動の企画・運営の方法

#### 3-1 若者が魅力を感じる(参加したくなる)イベント

##### ■若者からの提案(意見から抜粋)

コロナ禍で開催できなかった学校行事に代わるイベントを運営する 例:運動会・文化祭など
健康麻雀など、人気のあるイベントをヒントにする
新宿御苑での運動会など、その地域にしかないものでイベントを行う
子育て世代に参加してもらうため、子どもを連れていけるようにするなど、参加のハードルを下げる

##### ■意見交換(概要)

###### (発言者 1)

以前 地域の運動会に参加してすごく楽しかった。今、高校3年生だが、コロナが流行してから高校に入学し、もうすぐ卒業だが、まん延防止対策で文化祭も運動会も一切できなかった。そういう運動会や文化祭バザーなどを運営したら、行事が行えなかった若者たちは参加したくなると思う。

###### (発言者 2)

私の住んでいる地域に高齢者施設があり、毎月、健康麻雀というのをやっているが、高齢者限定だから行けない。毎月予約開始から1時間以内に満席になるそうで、高齢者に絞っているのに、そんなに麻雀をやりたい人が地域にいるのだなと思った。それがヒントになるのでは、と思う。

###### (発言者 3)

新宿区以外の方に来てもらわないといけないと思う。今は、オンラインで済むならオンラインで済んでしまう。多くの人に来てもらうためには、新宿御苑を使った大人の運動会をやるとか、区内デパート限定のバックを売るとか、その地域にしかないものでイベントを作っていくべきと思う。新宿区は交通のアクセスの良さもあるのでそれも活かすべき。

###### (発言者 4)

年代によってイベントのニーズや参加ハードルの高さは異なっていると思う。最初の説明で30代の参加率が低いという話があったが、まさにそうだなと思った。今は、共働き世帯が非常に増えてきており、また、手伝ってくれる両親等も遠くに住んでいる場合、日々の仕事や子育てに時間をとられている状況になっている。その中でイベントに参加するのは難しい。日々の生活に追われているので、家族で参加できたり子どもも楽しめたりしないと参加が難しいかなと思う。今、私がこの会議に参加している間、妻が子どもを2人見ている。例えば町会の集まりやイベントに参加するとき、私が家を出ると、いわゆるワンオペ育児になる。そうになると家族の理解が得られにくい。縁日や祭りなどの楽しい企画は、数多く開催されてると思うが、例えば運営側になったときも、「子どももぜひ連れてきてください。見てくれるご高齢の方などがいっぱいいます。」という話があれば、家族で参加できるし、子どもを連れていける。また、私が子どもを連れていくことで妻の負担軽減にもなる。このあたりのハードルを下げてもらえるとうごくありがたい。

### 3-2 若者が魅力に感じる(参加したくなる)企画・運営方法

#### ■若者からの提案(意見から抜粋)

若い世代が参加しやすいように、会議を ZOOM でも参加可能にする
イベント運営などで、部分的な参加などいろいろな形の参加方法をつくることで、負担の重さを変えて、多くの方が参加できるようにする 例:「祭りのお手伝いボランティア募集」、「盆踊りの踊り手募集」など
仲間ができると参加しやすいため、運営の中で仲間をつくれるような仕組みをつくる
運営に関わる立場になっても休める責任分担の仕組みと、子育て後に復帰しやすい環境をつくる
運営に参加すると良いこと、継続につながるようなプラスになる何かをつくる

#### ■意見交換(概要)

##### (発言者 1)

今、PTAをやっているが、Zoomを使うなど自宅からでも発信や会議ができると、若い世代の方は楽だと思う。Zoomが出来る、できないといったデジタルデバイドの問題はあると思うが、Zoomでも参加できますといった一文があると、若い世代も会議に出られるかもしれないと思う。集会を開くこと自体はいいと思うし、全部Zoomにするのではなく、Zoomでも対面でも参加できます、という形を取り入れると参加しやすい。

##### (発言者 2)

みんなが同じ負担ではなく、負担の重さを変えるのがいいのではないか。例えば、マラソン大会などボランティア募集のチラシが貼ってあるが、イベントの運営はすごく大変だと思う。一番大変なところは経験の豊富な町内会の幹部の方をお願いして、企画・運営は若い町内会員がやるといいのではないか。また、人手が足りてないとか、とりあえず参加してみたいというような人に向けて、「祭りをやります。」ではなく、「祭りのお手伝いボランティア募集」とか、「盆踊りの踊り手募集」とか、部分的に関わることができると、みんな気軽に手伝うことができると思う。

先ほども子どもを連れていけるなら、というお話があったが、実際、地域の子どもの面倒を見てあげるとか、自分のためだけではなく人のためにやるというのも楽しいと思うので、そういうボランティアなどに少しだけ参加するという形、いろいろな参加の形をつくるのはいいのではないかと思う。

##### (発言者 3)

イベントのボランティアをよくやっているが、どういう運営方法だと参加しやすいかとスタッフと意見を出し合ったことがある。一番は仲間ができると入りやすい。タイミングや一緒にやり始めた人が偶然若い人で仲よくなったということもあるが、仲間をつくれるような仕組みがあれば、運営としてはいいと思う。

また、休んでもよいことは重要だと思う。運営に関わる立場に立ったときでも、その人1人に責任を押し付けず、その人がいなくなっても代わりにできる人がいる、半年とか1年参加できなくても、帰ってきやすいなどそういう仕組みがあるといい。例えば30代の子育てしている人とかでも、1~2年休んでもその後戻ってきやすいような環境と運営の仕組みがあればいいと思う。

参考ではあるが、町内会の運営に参加して良いこと、参加して得られるものがあればいいと思う。私がサッカーのボランティアを長く続けたきっかけは、仲間ができたことに加えて、終わった後に選手が、ありがとうと言ってサインをくれたりした。それがきっかけで参加するようになった。プラスになる何かがあると継続しやすいと思う。

(区長)

どうしても過重な負担があると、参加するのが怖くなってしまい、最初から運営側に入らないほうがいいのではないかと、思いがちだと思います。どうしても休まなければいけないときはありますが、これまで町会・自治会に携わってきた方々がフォローしてくれますので、一步踏み出してもらえれば、活躍の場面をご提供してもらえらる団体がほとんどなのではないかと思ひます。本日の会議も欠席される方がいましたが、やはり子どもが病気になったとか、バイトのシフトが急に変わってしまったとか、いろいろ事情があると思ひます。けれども、参加されたメンバーで開催していますので、これは地域のイベントにおいても同じだと思ひます。特に今はコロナにいつ罹ってもおかしくありません。今日、もし私が来られなかったら多分別の人が参加していたと思ひます。そういう意味では、交代がきく機能がコミュニティの中で醸成できると思ひます。

町会・自治会への加入・未加入の方のお話もありましたが、加入・未加入にかかわらず、まずは参加してみても、こういうことが得意なので、少しお手伝いしてもいいですか、とお声がけいただく。それを温かく受け入れる土壌が町会・自治会にあれば、そのエリアは発展していくと思ひます。

今日いただいたご意見でも、いきなり参加するのは怖いとか、ちょっとためらうな、というものがありましたが、新宿は地方から引っ越してきた人が、こんなに下町っぽかったんだとか、こんなに親切にしてくれるんだ、という感想を地域行事で回っていると聞かされます。そういう意味では、一步踏み込むチャンス、タイミングがつかめていないのだろうと思ひます。そうした方に対する情報発信の仕方も、各町会・自治会の皆さんと一緒に共有しながら、住んでいる人が自分がこのまちでこんなことを「あ、できるんだ」とか「参加していいんだ」と思ってもらえるようにできたらなと思ひました。

## 会議のまとめ

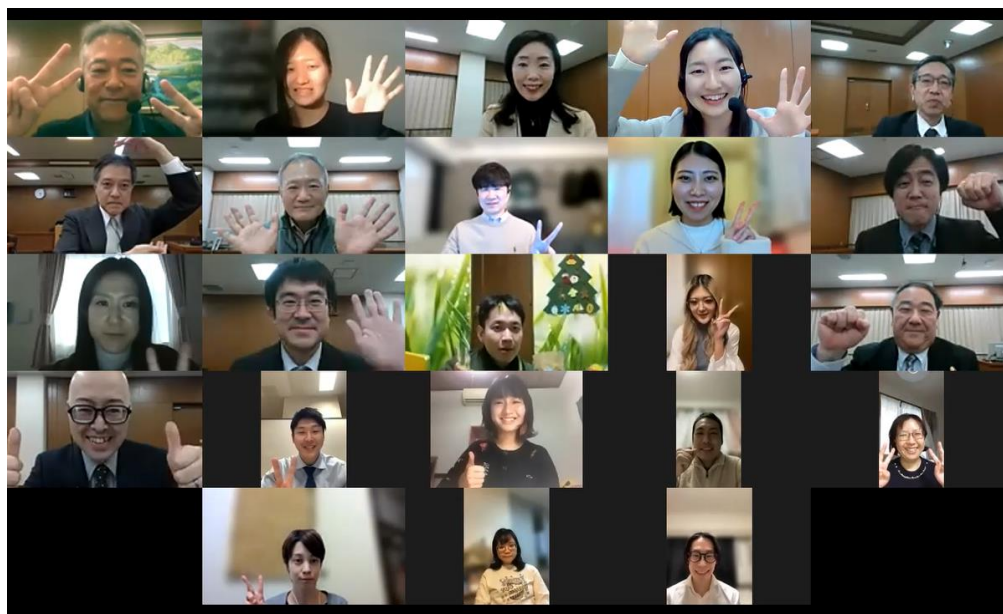
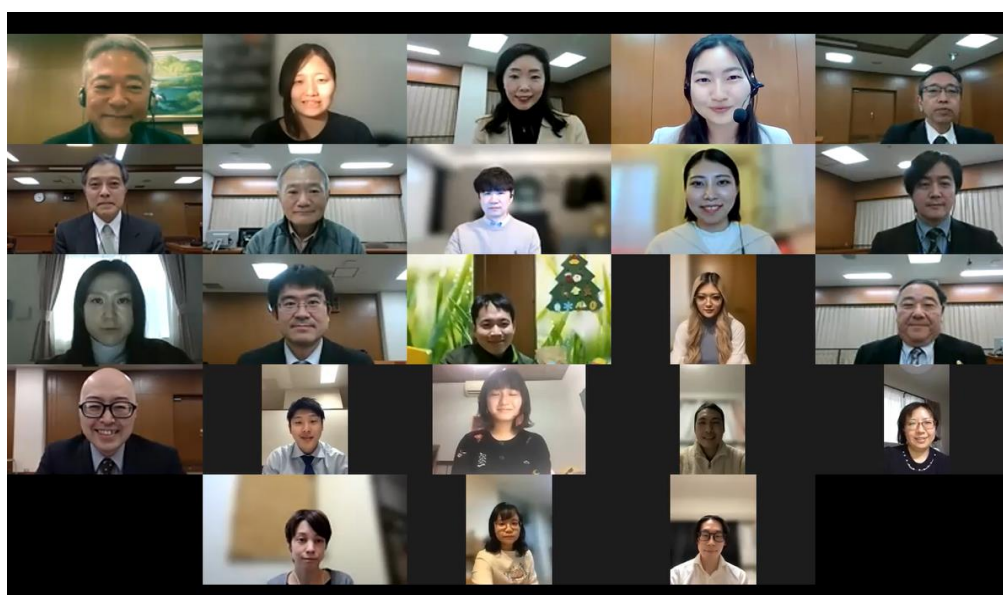
### ■ 区長からのコメント(概要)

本日は貴重なご意見をありがとうございました。自分たちは門戸を広げているつもりでも、どのように関わっているのか周りには伝わっていなかったのではないかと分かりました。

現在の町会長・自治会長の皆さんも昔は若手で、気が付いたら運営側に回っていたと世代ごとの繰り返したと思います。今回の会議に参加された皆さんは非常にポジティブな考えをお持ちだと思うので、自身の地域の町会・自治会で、きっと温かくむかえてもらえるので、ぜひ一歩足を進めていただければと思っています。

今日は気付いていなかった視点を多くいただきました。本当にどうもありがとうございました。

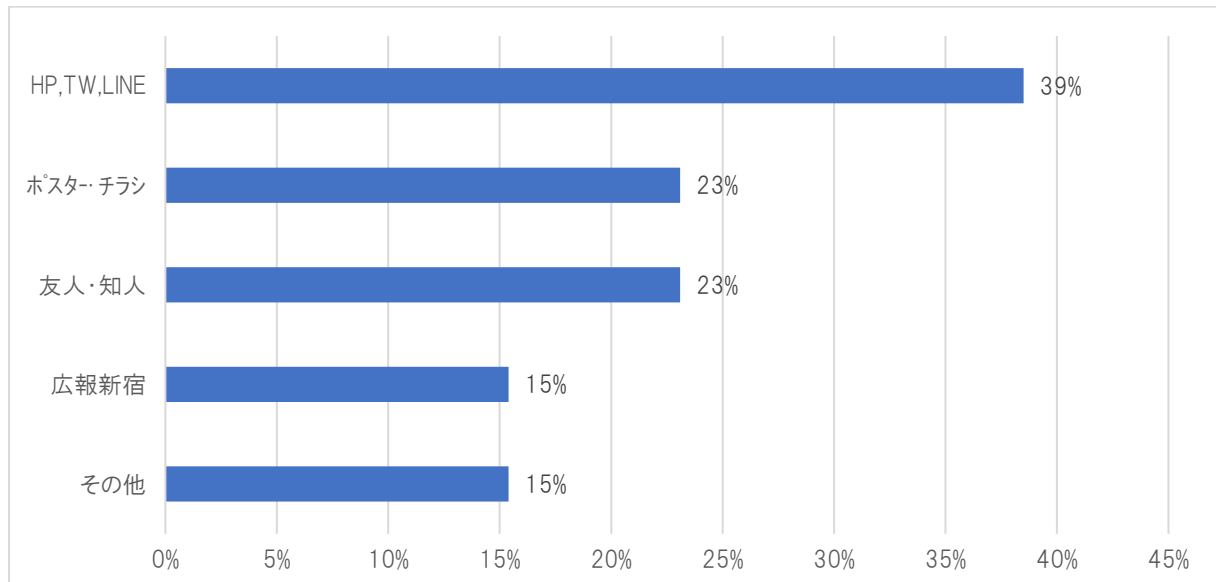
### 《閉会時の記念撮影の様子》



## VI 参加者アンケート結果

### 【若者 Web 会議を知ったきっかけ】

問1 今回の若者 Web 会議を何で知りましたか。(複数選択可)



1	広報新宿	15%
2	新宿区のホームページ・Twitter・LINE	39%
3	ポスター・チラシ	23%
4	友人・知人	23%
5	その他	15%

(ポスター・チラシを見た場所)

自宅、榎町特別出張所、回覧板

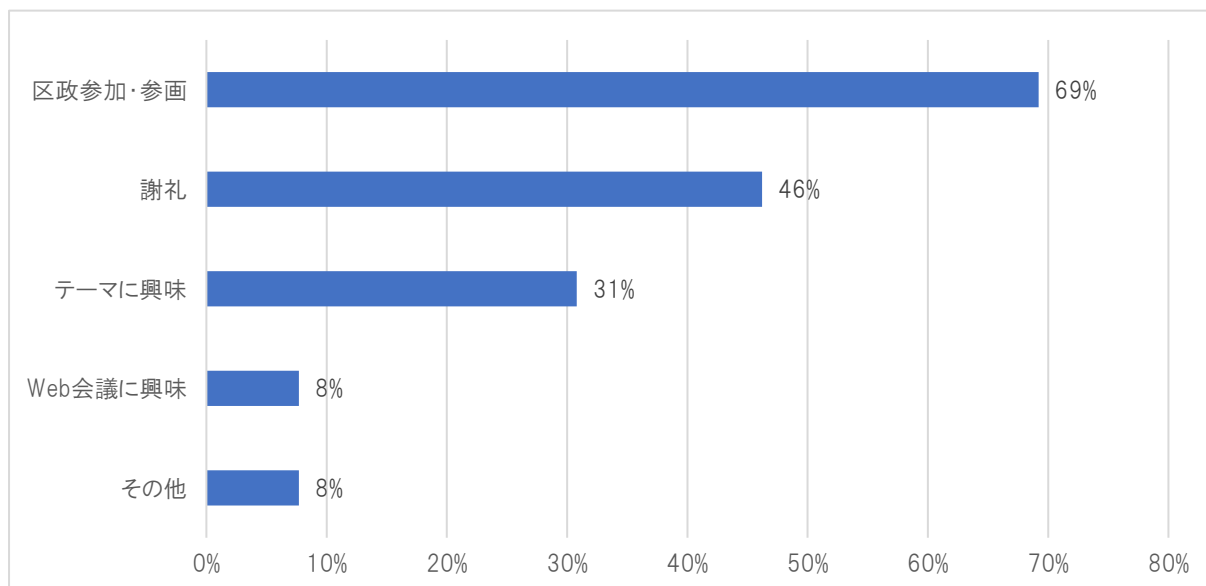
(その他)

祖父の紹介、区からの案内



## 【参加した理由】

問2 若者 Web 会議に参加を決めた、主な理由は何ですか。(複数選択可)



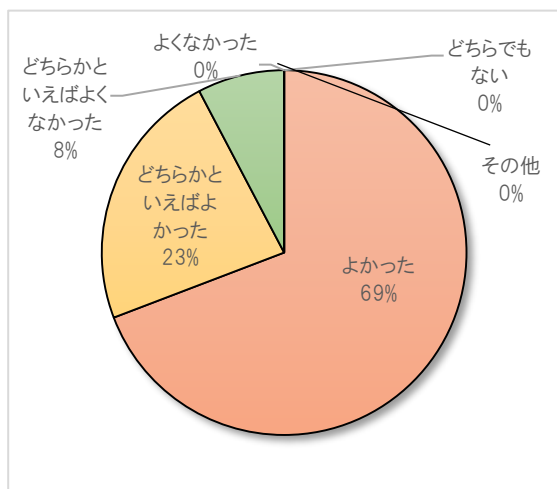
1	テーマに興味があったため	31%
2	Web 会議に興味があったため	8%
3	謝礼があったため	46%
4	区政に参加・参画してみたかったため	69%
5	その他	8%

(その他)

・地域に貢献したいため。

### 【参加の感想】

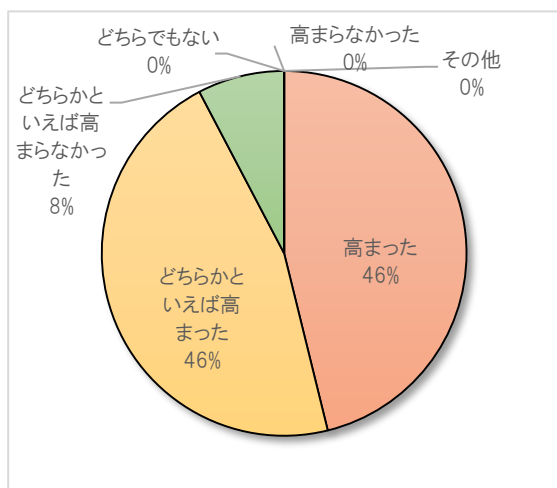
問3 若者 Web 会議に参加されて、ご自身の感想としていかがでしたか。(〇は1つ)



1	よかった	69%
2	どちらかといえばよかった	23%
3	どちらかといえばよくなかった	8%
4	よくなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

### 【区政への関心】

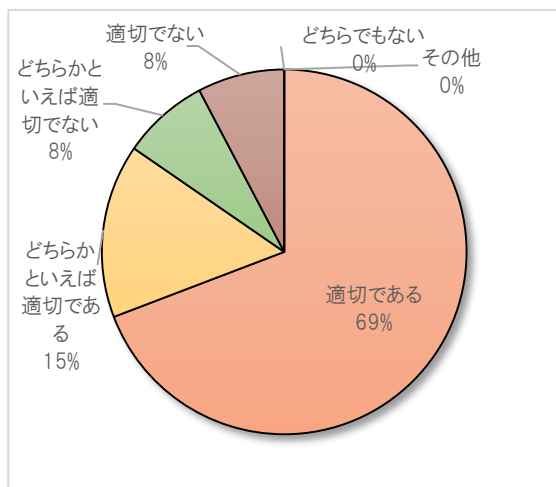
問4 若者 Web 会議に参加されて、新宿区政への関心は高まりましたか。(〇は1つ)



1	高まった	46%
2	どちらかといえば高まった	46%
3	どちらかといえば高まらなかった	8%
4	高まらなかった	0%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

### 【進め方や時間配分】

問5 本日の若者 Web 会議の進め方や時間配分は、適切でしたか。(○は1つ)



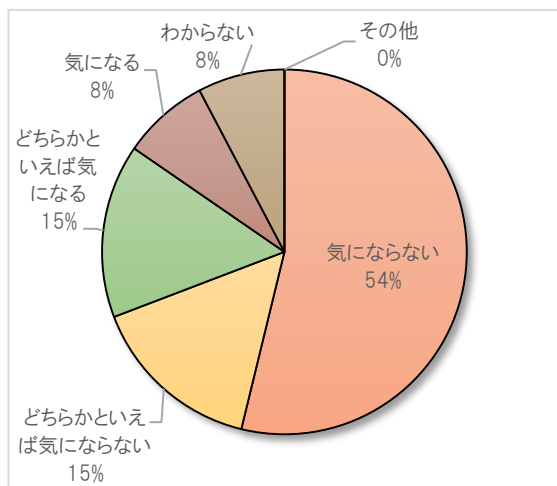
1	適切である	69%
2	どちらかといえば適切である	15%
3	どちらかといえば適切でない	8%
4	適切でない	8%
5	どちらでもない	0%
6	その他	0%

問5-1 若者 Web 会議の進め方について

- ・ 前回、区長に会議テーマとは別に意見する機会があったので、次回参加できるようであればほしい。
- ・ テーマを事前に募集してくれるとうれしい。
- ・ 進行が上手だった。
- ・ 参加者にまんべんなく話をふってくれた。発言数の少ない人にも発言をうながしていたところが良かった。(急にふられて上手く話せないこともあった。)
- ・ 最初の説明が長いと感じた。
- ・ Web 会議であれば、ブレイクアウトルームを使うなど少人数で話し合いができる場があると、より多くの意見がでるのではないか。
- ・ 発言が苦手な方もいると思うので、平等に当てても良かったと思う。
- ・ 最後の方のテーマは少し時間が足りなく感じた。

### 【傍聴者の有無についての意向】

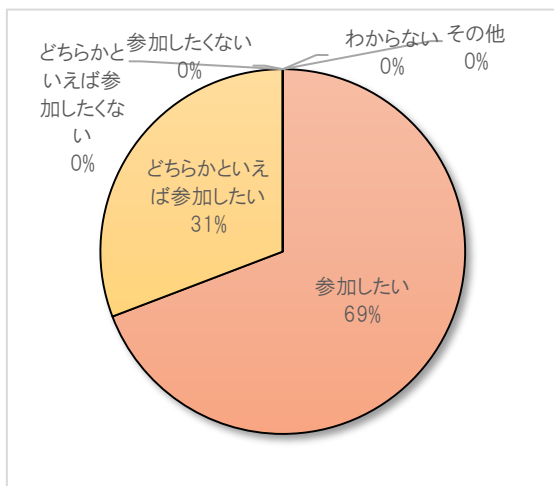
問6 今後、若者 Web 会議に傍聴者がいた場合、意見交換や発表の際に気になるといいますか。(○は1つ)



1	気にならない	54%
2	どちらかといえば気にならない	15%
3	どちらかといえば気になる	15%
4	気になる	8%
5	わからない	8%
6	その他	0%

## 【来年度の参加意向】

問7 来年度以降も若者 Web 会議に参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)



1	参加したい	69%
2	どちらかといえば参加したい	31%
3	どちらかといえば参加したくない	0%
4	参加したくない	0%
5	わからない	0%
6	その他	0%

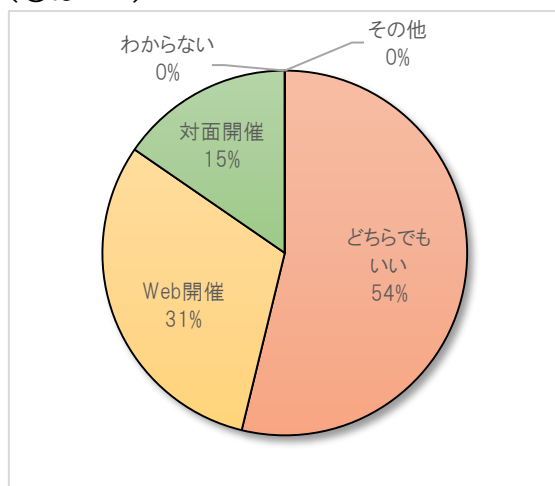
### 問7-1 来年度以降の開催についての自由意見

- ・人数が多くてあまり発言できていない人がいたのが気になった。
- ・このアンケートを Web で答えられるようにしてほしい。Web の方が得意なのと、その方が日をあけずにホットな感想を書けそうだと思う。
- ・以前から区政に関心があったので、これからも参加したい。今回、参加者が 13 名で少なかったのが少し残念だった。
- ・テーマが広く議論が散漫になる印象があった。「人が足りない」ではなく、何に困っていて、どういう人物が欲しいかなど課題を具体化させて、それを解決するために、というテーマの方がよいと思った。
- ・オフラインでやりたい。
- ・今回若者として参加したが、若者の年代だけでなく、ターゲットをもっと狭くしても良いと思った。独身と子持ちでは、求めること、考えることが違うので、考えを言いにくい場面もあったため。
- ・トークテーマが常に表示されているとわかりやすいかなと思った。
- ・気になる点はあったものの、区長の声を聞いたことは良かった。区民のほとんどはこういった機会がないと区政を感じとることができない。(若者に限らず全ての年齢の人に対して)

## 【開催方法の希望】

問8 今後、若者会議を開催するにあたり、Web 開催と対面開催のどちらが好ましいですか。

(〇は1つ)



1	Web 開催	31%
2	対面開催	15%
3	どちらでもいい	54%
4	わからない	0%
5	その他	0%

## 【自由意見】

問9 今回の会議の中で、伝えきれなかったご意見や、その他お気づきのことがございましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・ 今回の会議とは直接関係ないかもしれないが、新宿区(というか日本の)教育をテーマにしてほしい。
- ・ 中学2年生の娘と小学5年生の息子がいるが、未だに PTA の活動に協力頂いている機関(育成会や地区協議会)が平気で平日に会議や講演を開いている。昔のままの感覚(ママが主体で平日に活動するPTA)では子供はどんどん減っていくと思う。
- ・ 区のイベントの告知情報に「誰でも歓迎」と明記してもらえると参加しやすい。以前、区のイベントに行ったところ、「子連れでないと入場できない」と断られたので、(チラシを見て行ったがチラシには入場資格は書いてなかった。)楽しそうなイベントを見つけても行こうと思わなくなった。「自分はターゲット層じゃないんだろうな」と思っていた。今回の議題にそもそもビックリした。
- ・ 中落合地域交流館のイベントが毎月いつも楽しそう。とくに「健康麻雀」は予約開始数分で満席キャンセル待ちになるほど人気。高齢者施設なので参加できないのが悲しい。麻雀以外にも楽しそうなので若者の参加を増やすヒントになりそう。
- ・ 町内会の仕事は近い存在のはずなのに、ほとんど知らない内容ばかりで驚いた。もっとアピールしても良いと思う。
- ・ 若い人にイベントに参加してもらおうという点も大事だが、運営側に若い人が沢山いると活気が出ると思うので、募集の仕方に工夫が必要と思った。具体的な仕事の内容がわからないと入りにくいと思うので、「こんなことをしています!!」「こんなことが楽しい!!」という情報が発信できるかと思った。(SNS やチラシなどで)
- ・ イベントについては、今市場規模が大きいのはハロウィンと聞いたことがあるので、毎年仮装イベントをすると目立って良いのではないか。
- ・ 少子高齢化の中で今までと同じようにということは不可能だと思う。若者にとっても自治会の必要性が理解できないと思うが、自治会としてもイベントなどの見直しは必要だと思う。ただ、現況、スポット参加などもしているなど少しずつ変化が起きているのかなと感じた。
- ・ 「町」にしばられるのではなく、近隣や全く他の地域と協業していくこともいいかと思う。
- ・ 区政や自治に関わる方々の話が聞けてよかった。地方から上京してきたので、地域への愛や向上心を持たれている方が多くいることに安心した。
- ・ 前回までの会議でどんなことが改善、実行されたのかをできればききたかった。どれ位の実現可能レベルの意見を言っているか、何を決めたい会議なのか、事前にわかればもっと意見を言いやすかった。
- ・ アバターでの参加が出来るとう嬉しい。
- ・ 会議中、区長が自分の住んでいる地域がその町会の管轄になるのかは HP でわかるようになっていとおっしゃっていたので調べたものの、全くわからなかった。サイトがあるのかもしれないが見つけれず。今回の会議についても広報新宿を見て、申込みと決めた際、ネットで調べたところ、昨年度に開催された資料しか見つからず、申し込みに苦労したのを思い出した。以上 2 点より新宿区の HP の見にくさを感じている。自治体がそれぞれネットでの活動に力を入れていても、それが見つけられないと本末転倒である。新宿区の HP が入口となり、それぞれの自治体へ飛べると良いと思う。すでにそのような形かもしれないが私には見つけられなかったので、新宿区の HP からわかりやすく見やすくなると良いと考える。
- ・ もっと自分が住んでいる地域の人々とつながりを持てる、きっかけを持てるとうと思った。

令和4年度  
しんじゅく若者 Web 会議実施結果報告書  
令和5年3月発行

<編集・発行>  
新宿区総合政策部区政情報課広聴係  
新宿区歌舞伎町1-4-1  
電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号
---------

2022 - 30 - 2106
------------------